

令和3年度第2回横浜市学校規模適正化等検討委員会 会議録

日 時	令和4年3月24日(木) 14時00分～16時00分
開 催 場 所	横浜花咲ビル 2階 201.202 研修室
出 席 者 (9 名)	小松委員、片岡委員、倉斗委員、平井委員、細田委員、秋好委員、竹原委員、大塩委員、室伏委員
欠 席 者 (1 名)	野木委員
開 催 形 態	一部公開、議事2は非公開(傍聴者0人)
議 事	1 部会からの報告 2 学校規模適正化等について〈非公開〉
決 定 事 項	1 議事2については、非公開とする旨を決定した。 また、横浜市学校規模適正化等検討委員会の部会において検討を進めていくことを決定した。
議 事	<p>1 部会からの報告</p> <p>「阿久和小学校・いずみ野小学校」通学区域と学校規模適正化等検討部会における検討状況について</p> <p>(委員)</p> <p>ただ今の報告を伺って色々なことが少しずつ固まってきたなという印象を持っています。教育環境が子どもたちにとってより良いものになるという観点と、安心安全が大事だと思っています。通学路が変わる児童が多数出るので、長年、各小学校のスクールゾーン対策協議会で通学路の安全対策の取組が生かされる部分もあれば、あまり議論が積み重ねられていないところもあります。現地現場を目にしておくということが大切だと思うので、もう既にスケジュール化されているということで少し安心しました。</p> <p>(事務局)</p> <p>昨今、通学時の事故がありますので、新しい通学路ができるということは、地域の方も通学安全について心配していると思います。4月9日に通学安全点検という形で、部会の委員と、各学校のPTAの役員クラスの方に実際に歩いてもらい、危ないところをしっかりと確認できればと思っています。また、警察署や土木事務所にも、通学安全点検の日程をお知らせしていますので、一緒に歩きながら、危ないところを確認してもらうのが一番効果的だと思っています。</p> <p>(委員)</p> <p>色々な部署と連携して行ってくれるのはとても良いことだと思います。</p> <p>(委員)</p> <p>地域防災拠点が各小学校にあると思うのですが、2校の統合で1校がなくなってしまうので、学校統合は確かに大切ですが、地域のことも考えながら、検討してほしいと思います。</p> <p>(委員)</p>

最近、「安全」と言ったとき、防犯と交通のことが真っ先に思い浮かびますが、通学距離が長くなると、夏の暑さに対して、途中で気分が悪くなってしまったというお話をよく聞きます。春の気持ちの良い時期に行くと、全然日陰のない道などは見つけにくいと思いますが、「気分が悪くなったときにここで休憩できるよ」みたいな場所があるのかといった視点も今後は取り入れていく必要があると思います。それから跡施設について、閉校になってしまう地域の子どもたちは、一度学校から帰ってしまうとその地域の周辺で遊ぶことになると思います。やはり最近、公園等でボール遊びをすることも少なくなっているので、子どもたちの遊び場という意味での校庭や学校施設という跡活用も候補として是非考えていただきたいと思いました。

(事務局)

まず跡利用の話で防災拠点ですが、阿久和小学校、いずみ野小学校両方とも防災拠点に指定されています。今後、実際に学校統合が行われた後に、阿久和小学校の方が統合後に閉校する施設になります。当面の間は、現在の防災拠点や、学校開放事業を暫定的に使用できるよう考えていますが、その先の跡利用として、防災拠点をどうするかも地域の最大の関心事だと思います。この辺は地域にお話しを伺いながら、また、防災拠点に指定するのが総務局の危機管理部や区役所なので、意見交換をしながら、跡利用について全庁的に考えていこうと思っています。もう1点、通学路の夏の暑さのお話ですが、4月9日の通学安全点検時には、保護者の皆さんはそういう点に気がついていないと思いますので、事務局の方から声掛けしていきます。跡利用は、統合する前後辺りから検討するので、その辺りになったらまた地域の皆様に、保護者の方も含めてお話を伺い、統合後の閉校施設についてどのような活用手法が良いか地域の御意見を伺っていきたいです。

(委員)

他の自治体の話ですが、統廃合による廃校施設の跡利用で委員会が開かれ地域の方の御意見を伺いました。同時にその学校に通われていた子どもたちにも、跡施設の活用で意見を聞く場所を設けたところ、地域の大人たちのニーズと全然違うものが出てきました。それはとても大事なのではないかという話になり、子どもたちの意見がかなり検討の中に生かされた事例があります。横浜市の本検討委員会には出られないと思いますが、意見を貼り付けるようなボードを作るなど、是非地域の子どもたちの意見というのでも聞いていただきたいと思いました。

(委員)

今、子どもたちがどこで遊んでいるかというところ、地域の公園というのが一番多いと思います。校庭を開放している学校であれば、校庭に集まってきます。やはり子どもたちは、遊び場を求めているので、地域の公園や遊び場がどうなっているのか現状を踏まえながら考えていくのはとても良いと思います。

(委員)

防犯だけでなく、お腹が痛くなった時などにも、こども110番の家の御協力をいただければと思います。遊び場ですが、地区のこども会の子どもたちにアンケートを取りました。どういう居場所が欲しいか聞いたら、楽しく皆さんで交流できる場という

ことで、ケアプラザを借りて開放してもらっています。体育館なら色々なことができ、防災拠点にもなります。そういう場所を残していただき、地域のために活用できたらと思います。また、統合するときに通学路が長くなるのでバスを出してほしいという意見があると思います。地域には色々な声があり全部生かされるとは思いませんが、平行線ではなく、交わる場所を見つけられたらと思います。

(事務局)

こども 110 番のお話を頂きましたので、他の地域での事例をお話しさせていただきます。昨年統合しました神奈川区の菅田の丘小学校ですが、元池上小学校を統合校として使うので新しく建替え中です。建替期間中は、閉校した菅田小学校に皆さん通っていただいています。そうすると、通学路が変わってしまうのでそれに対して、今までこども 110 番に入っていなかった企業や、新しい通学路のご家庭にお声がけして、新たに登録していただきました。今後、子どもたちが何かあった時に相談というか、ちょっと声をかけられる取組ができると、より安心して通学ができると思いますので、もう少し、こども 110 番の制度を進めていけたらと思っています。

(委員)

地域の方に防災拠点はどうなっているのか聞かれたのですが、跡地利用のことは分からず答えに窮しました。学校は地域の方からのお問い合わせに対応する場面が非常に多いので、そういう事は明確に校長に伝えておくことが良いと思います。

(委員)

第 3 回のニュースで統合に反対されている方の意見がありますが、第 4 回ではありませんでした。ある程度、納得をいただいているということでしょうか。

(事務局)

実は、この部会の第 2 回と第 3 回の際に、「保護者や子どもたちに周知ができていない」という御相談を P T A の方より受けまして、別途、説明会のニュースを配り直しました。あと、部会の中で色々頂いた御意見や疑問点について、事務局で資料を用意させていただきました。全部 100 パーセント納得いくという話ではないのですが、子どもたちのことを考えると、学校統合するのが、将来的によりよい選択だと考えていただけたのだと思います。心変わりではないのですが、変化があったのかと思っています。

(委員)

今の委員と全く同じことを感じていました。3 回の検討委員会で方針を決定したということは非常に御理解いただいてすみやかな印象なのですが、第 2 回のニュースで保護者の御意見として、「保護者への説明が足りない」や、「保護者の意見が反映されていない」という意見があったので、どういう対応をしたのか不思議でしたが、P T A の意見に対して保護者の皆さんに再度ニュースを配布したとのことで、非常によかったと思いました。

(委員長)

それでは、大体皆さん方の御意見、御質問も出ました。中身はそれぞれかなりこれからの議論にも共通するとても大事な論点が出てきたと思います。次に、神奈川区の齋藤分小学校と二谷小学校の建替えに伴う学校規模適正化等について、事務局より御説明をお願いいたします。

「齋藤分小学校・二谷小学校」建替えに伴う学校規模適正化等検討部会における検討状況について

(委員長)

こちらの場合は、二谷小学校の建替えが絡んでいます。それを積極的に活用して、少し将来になりますけれども、齋藤分小学校との統合ということについても検討していこうという話です。具体的にこの築65年とか70年は、どんな不具合や耐震の診断、色々なことを行っていると思いますが、その辺のデータなど情報はありますか。

(事務局)

基本的に70年以上使うと、長寿命化の改修をしないと安全に使えなくなります。今、築65年という形でお話をさせていただきましたが、全部が65年というわけではありません。参考の説明会報告を1枚おめくりください。二谷小学校の校舎の地図がありまして、右上のところ以最古の棟というのが65年になっております。

ただ、保全計画等はしっかりしていますので、70年迎えたらずぐ駄目になってしまうという話ではなくて、70年を迎えた辺りの校舎を目処に、全市的にそのほかの学校も含めて建替えをしていこうという形で今、建替え計画を進めているという形でございます。

(委員)

新しい学校で、5階建てというのは子どもたちにとってどうなのでしょう。

(事務局)

ほかの学校でも最近5階建てをつくっている事例があります。その学校の中で話を聞いたところ、階数が少ないほうが子どもたちや先生方の移動が少なくて良いというのは聞いていますが、5階にすることにより支障が出ているという話は伺っていません。できるだけ階数を減らすというのが理想論ではあります。小学校の校庭は、平均で3,700から3,800㎡あるのですが、二谷小学校は、かなり敷地面積が狭くて、校庭も2,000㎡程しかありません。今後単独で建て替えたとしても、階層を高くしてできるだけ校庭を確保するというのが、子どもたちのためによいのではないかと考えています。

(委員)

齋藤分小学校のアンケートで、89パーセントが反対になっています。質問の仕方によって数字が左右されるでしょうが、ちょっと高い印象があります。原因や対応策などの方針は出ているのでしょうか。

(事務局)

町内会が独自でアンケートを取り、その結果を部会の中で御報告いただき、ニュースで取り上げました。情報提供や説明会はしていますが、もっと情報を出さなければと思います。この地域は、地域防災拠点でかなり活発な活動をされているとのお話もありますので、その部分で不安材料があり、反対意見が出ているのかと思います。また、山坂が多い地域で、通学区域が延びてしまう。学校計画課の基本方針に示しています2キロ以内には納まるのですが、やはりちょっと遠くなってしまわないのかとの御意見もあります。そういう場合、特別調整通学区域で、隣の学校も選べる設定ができるのか、地域で使われている学校の跡利用も踏まえた形でしっかり事務局の方から説明をしていかなければと思います。今後、部会の中で説明をして、内容は全てニュースにまとめて、地域、保護者の方に届くように周知をさせていただきたいと思います。

(委員)

栄区の本郷中学校が、もうすぐ70年なので建替えを計画中で、説明会に出席したのですが、同じ時期に建てられているのに、校舎だけ建替えて体育館は建替えない話をしていました。体育館の基準の面積を満たしていないそうです。本郷中学校は、栄区で一番大人数の中学校で、広範囲な地域の防災拠点にもなっています。今でも狭いので建替え計画があるなら総合的に判断して地域の声を聞いて建替えをしていただかないと二谷小学校と斎藤分小学校の統合についてもうまくいかないと思います。

(事務局)

本郷中学校ですが、70年だからすぐ建替えができるわけではなく、国からの補助金を頂きながら横浜市として少ない財政の中で建替えをします。建替えの前に耐力度調査というのがあり、どのくらい耐力度があるのか。その数値が低くないと国から補助金がもらえないので、そういう観点も踏まえて建替え校の選定、どこを建替えるかなどを検討しています。子どもたちが大前提ですが、地域に密着した学校施設なので、地域の方々、子どもたちが学校教育を受ける場所、お祭りや防災拠点で使っているといったものも加味した形で建替え事業も進めていけたらと思います。今日いただいた御意見は、しっかり施設整備の部署にお伝えしていきます。

(委員)

斎藤分小学校は、先ほど議論のあった阿久和小学校、いずみ野小学校と状況がかなり違って、統合すると、19学級という状況です。小規模校は、先生方にとっては、教えやすく、親密な関係がつけれるというお話が多いですが、やはり学年の児童数が20人を切ってくると、色々な活動ができなくなるという感覚的なものがあるようです。その辺の深刻度は、斎藤分小学校にはあまりなく、ちょうどよく小規模な感じなのかなと思いました。もしかしたら、保護者や先生方も同じように思っているので、「なんで」という意見があるのは想像できます。阿久和小学校、いずみ野小学校は、小規模化していて色々な活動ができなくなるという教育的な側面をかなり強く感じるのに対して、斎藤分小学校、二谷小学校は、建替えするから統合するみたいなニュアンスが強めに表現されている気がします。そうすると、子どもファーストではなく見えてしまいます。予算を抜きには話せないと思うので、充実したこれからの学校施設を建てるために統合するなど、子どもたちにとってメリットを伝えていくことが

これからの検討部会の中で重要ではないかと思えます。

(事務局)

阿久和小学校は、横浜市内で一番児童数が少ない学校で、少ない中で色々検討していただき、支障が出ない教育活動をするのはもちろんですが、今後、更に減小が見込まれます。今のうちに統合するのが、この地域には重要と思っています。斎藤分小学校は今、6学級ですが、最初から200人前後でずっと6学級が続いているという地域なので、この規模での学校運営が成り立っている部分があります。その中で「なんで今」という話がやはり上がってきています。今回、二谷小学校を建て替えることによって、環境がかなり良くなりますので、それを2校の子どもたちが享受できるところがメリットだと思います。また、斎藤分小学校に関しては、建替えが終わった後に統合しませんかという検討を提案しています。建替えをしている最中も子どもたちは、毎日通ってきますので、二谷小学校の子どもたちには、負担をかけてしまいますが、斎藤分小学校の子どもたちは、建替えの期間中はそういった負担を強いられることがないというメリットがあります。斎藤分小学校は少し増えますが、その先は減っていくのが見込まれていて、阿久和小学校のように、100人を切った段階でどこかと統合になり二谷小学校と統合となった場合、二谷小学校が現在の児童数で建替えをしてしまうと、斎藤分小学校の子どもたちを受け入れる余地がなくなってしまいます。建替えをしたのにプレハブを建てるという話には多分ならないと思うので、今の時期に統合ということで事務局の方から地域に提案しているところです。建替えに伴うメリットを事務局が説明しながら、部会の中で検討できればと考えています。

(委員長)

6歳未満のこれからこの地域で生まれ育つ子どもたちや、保護者になる可能性のある若い世代の皆さんにも関心があることです。この学校が存在する地域の皆さんにとって、できるだけよい学校の在り方を、5年後10年後、地域全体のまちづくり、教育状況の整備ということで一緒に考えてみませんかということです。今後の部会でその辺の議論の仕方もし是非御配慮いただいて、皆さん方が少しでもしっかりとした情報を持ち、適正な判断・議論ができるような環境整備をしていただければと思います。

(委員)

二谷小は平地で、斎藤分小は山の上にある学校です。斎藤分小は、地域防災では先ほどお話があったように、積極的に取り組んでいますので、そこを無くしてしまうということは、本当に難しい統合だと感じます。隣に南神大寺があって、ここも非常に小規模校です。そうすると、学区の線引きや、特別な学区の選定など、柔軟な考え方で地域の納得を得ていくというのが一つの方法かと思えます。第1回目の部会の反応がどうだったのかをお聞かせください。

(事務局)

第1回目の部会の反応ですが、まだ1回目なので、ちょっと様子を見ている感じです。ただ、普通の小規模校の適正規模化による部会での検討というのが、統合しようとなった時に、どちらの学校を使用するか決めていない状況で検討にはいるのですが、今回は二谷小を建て替えるので、二谷小と一緒になりませんか。自動的に斎藤

分小学校は学校統合により閉校します。という前提があるので、斎藤分小学校の地域と二谷小学校の地域で、温度差はあるかと思います。斎藤分小学校がなくなってしまうという話と、二谷小学校の建替えを契機に迎え入れるという、若干意識が違うという部会の中での意見がありました。

(委員長)

引き続き部会での検討について丁寧な議論をしていただきたいです。そのための情報提供は、事務局のほうでも御協力をお願いしたいと思います。

(委員)

小規模校ですが、統合することによってデメリットが出てしまうと思います。小規模校を残してはいけないのでしょうか。地域によっては小規模校であっても残していくという考えをお持ちなのか、この辺のところをお伺いしたいです。

(事務局)

当課では、基本方針を定めています。国の基準にも、12学級から18学級が適正な規模で、12学級未満が小規模と定義されています。適正と言うからには、より適正な学校教育が行われるというところなので、そこを目指すという形で基本方針のほうを定めています。小規模校が、すべて良くないという考えはありません。メリットがありますが課題もけっこうあるということで、できたら適正規模にしていきたいというのが基本方針の中で立てているところです。学校統合以外にも通学区域の変更も通学安全、通学距離を考慮しながらやっています。児童数が一番少ないところから統合をやっていくということではなく、やはり地域のつながりとか、学校ができた経緯、その地域での学校のなりわい、そういうものを総合的に考えながら、事務局としては「小規模校を解消するための適正規模化も検討しましょう」という形でやらせていただいています。

(委員長)

このテーマも私たちにとってずっと、毎回のように議論しなければいけないテーマだと思います。私は、全国の学校とネットワークをつくって、小規模校としてどうしたら生き残っていけるのかをアドバイザーとしてずっと関わっています。事務局からの話にも私も全く同意見で、形式的に何人以下になったからとか、何学級以下になったからもう学校として認めないというようなことは国の方でも示してないと理解しています。それに、部会をつくってそれぞれの学校の事情、地域の事情を丁寧に議論するという、非常に大事な部分を1回や2回の部会で教育委員会の考えを押し付けるとか、あたかもそっちのほうに誘導するようなことは、私が理解する限りでは、横浜市ではやってきていないと思います。

(委員)

本校の統合に向けた部会の中で、今のようなお話はたくさん出てきました。小さい学校は駄目なのかなど。横浜の中でこういうモデルがあっても良いのではないかというお話もありました。学校の職員もそのような気持ちでいるところもあります。決め手になったということではないのですが、本校の場合は地域に大きな団地があります

	<p>が、市の方針もあって今後、その団地に子どもたちが増えないことが分かりました。この子どもが増える可能性がないという情報が統合を決定する上での一つの要因となったと思います。市がどのようなまちづくりをしていくのかという情報を地域の方に伝えることが、議論する上で大切になると思います。</p> <p>(委員)</p> <p>保護者からすると、現状のままで良いというのが本音だと思いますが、統合することにより子供たちが、大勢の中で切磋琢磨して、友達も大勢つくって、色々なことでメリットがあるということを大いに前面に出して誤解のないように皆さんに理解していただきたいです。集団の中で子どもたちが教育できるのは、学校だけだと思いますので。悪いうわさはすぐ広まり、良いことはなかなか伝わらないのが残念です。</p> <p>2 学校規模適正化等について</p> <p>(委員長)</p> <p>本議題から今後の事業に支障があるとのことで、非公開とさせていただきたいと思います。これについて、お諮りしたいと思いますが委員の皆様御異議ございませんか。</p> <p>(委員異議なし)</p> <p>(委員長)</p> <p>それでは、横浜市の保有する情報の公開に関する条例第 31 条 3 号及び横浜市附属機関の会議の公開に関する要綱第 4 条に基づき、非公開とさせていただきます。</p>
<p>資 料</p> <p>・</p> <p>特 記 事 項</p>	<p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「次第」 ・「委員名簿」 ・「座席表」 ・部会からの報告 <ul style="list-style-type: none"> ・「阿久和小学校・いずみ野小学校」通学区域と学校規模適正化等検討部会ニュース第 2 号～第 4 号 ・「斎藤分小学校・二谷小学校」建替えに伴う学校規模適正化等検討部会ニュース第 1 号 <p>※非公開案件の資料は掲載しておりません。</p> <p>【特記事項】</p> <p>なし</p>

(※) 本会議は一部公開であるため、非公開案件の発言要旨は記載しておりません。